

キャラクター名 _____ プレイヤー名 _____
フィーリア・インヴィータ

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	ガンスリンガー	Lv.1:	ガンスリンガー	性別	女性
称号クラス				年齢	15歳
種族	ヒューリン			境遇	天啓
出自(効果)	騎士			目標	復讐

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	19	8	9	9	13	6
ボーナス	4	6	2	3	3	4	2
クラス修正	0	2	0	1	1	2	0
他修正							
能力値	4	8	2	4	4	6	2

HP	55
MP	60
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ガンバード	10m	0	23	0	0	0	0	0
左手									
頭部									
胴部	スケイルアーマー					7			-1
補助	水晶の指輪					1	1		-1
装身具	高位聖印								
能力値			8	0	2	0	6	6	9
スキル	マジックレジスト、サクセション			1			3		
その他								2	
総計(右)			8	24					
総計(左)					2	8	10	8	7
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定	4			4	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	強心丹×2
ベルトポーチ	クイックホルスター
冒険者セット	
ポーションホルダー	聖印 (150G)Cアーマー (50G)
MPポーション×3	ソリッドブーツ (500G) ビレッタ (200G)
MPポーション×4	
HPポーション×3	
万能薬	
毒消し×5	
ランチボックス	
野菜×5	

現在重量:	23	所持金:	335	預金・借金:	
最大重量:	31				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーブブラッド	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果:	タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果:	対象が受ける予定のダメージに-[SLd]							
ヒール	1	4	Xジャー	20m	単体	魔術	-	
効果:	HP回復 5d+[CL*3]							
クイックヒール	1	5	インフラ	-	-	自動	1/シーン	
効果:	《ヒール》と同時。							
アフェクション	1	-	DR直後	20m	単体※	自動	1/ソリオ	
効果:	対象が受ける予定のダメージを0に変更							
テレポート	1	10	Xジャー	至近	範囲(選択)	魔術	1/シーン	
効果:	マークポイントへ瞬時に移動する							
	1							
効果:								
AM: 魔導銃	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	命中+1d							
キャリバー	1	-	アイテム	-	自身	-	-	
効果:	アイテム: キャリバー取得: 攻撃力0+[CL+3]							
キャリバーガンバード	5	-	アイテム	-	効果参照	-	-	
効果:	攻撃力+[SL*3][重量:6][部位:双]							
マジックバレット	1	6	マイナー	-	自身	-	魔導銃	
効果:	ダメージ+[SL*2]、「無」属性化							
	1							
効果:								
マジックレジスト	1							
効果:	魔防+3							
エンラージリミット	1							
効果:	所持可能重量2倍							
マジカルハーブ	1							
効果:	MPP×3取得							

CL1取得 《アフェクション》2 《ヒール》 《キャリバー》 《キャリバーガンバード》1
PL:三色 アバター: パル

愛称は「フィー」または「フィール」
騎士の家系、その分家の出の神官少女。あまり信心深いわけではない。
数年前に一家虐殺に遭うも生存、その後両親の旧友であるエルに引き取られる。
両親が遺したキャリバーに復讐を誓い、日々鍛錬に励んでいる。そのため、神官としての修業は疎かであるが。

過去が過去だけに一匹狼気取りである。しかし、本来は穏やかな性格。

#1 【座】の起動と、そこにいた鎧騎士によって、父親代わりだったエルの命は奪われた。失意の中、辿り着いた歪んだ未来で希望を見出す。それは、その事実を“なかったこと”にできるかもしれないという話は、仮令それが大嘘であったとしても、彼女にとっては唯一の導であり、心の支えなのだ。
笑顔を奪われたことや、多少なり打ち解けたこともあって、出会った当初のとげとげしさは鳴りを潜めている模様。

#2 最初の時代での改変阻止に成功。
ギルドの三人とはある程度打ち解けた一方で、アリストピアには不信感と嫌悪感を抱いており、更に隠そうとはしていない有様。
比較的遠慮なく言い合えるセルモには、特に無意識に信頼を寄せている。ただ、歴史改変を阻止したはずなのに、再びエルの死を見たことで精神崩壊まであと数歩という状態にある。
拠点への帰還後もただ泣きじゃくり、おしかけたセルモの部屋で寝ってしまった。

#3 母との約束を思い出し、前へ進むことを決意し直す。
一方で、アリストピアの本当の、そして小さな願いを聞き、少し彼女の見方が変化する。

